

徳島県気候変動適応戦略(仮称)素案について

1 趣 旨

IPCC(気候変動に関する政府間パネル)の第5次評価報告書によると、今世紀末までに世界の平均気温は最大4.8度上昇するとの将来予測が示され、国内においても猛暑日や集中豪雨の増加等、気候変動の影響と考えられる現象が現れており、今後、これまで以上に県民生活に関する幅広い分野での影響が懸念されることから、そのリスクをできる限り低減するため、本県における適応策を取りまとめた「気候変動適応戦略(仮称)」を策定することとする。

2 概 要

(1) 基本的事項

① 計画期間

- ・ 平成28年度～平成32年度

② 戦略の方向性

- ・ 地域特性に応じたリスクを低減し、安全安心の社会づくり
- ・ 影響のプラス面を効果的に活用し、地方創生につながる地域づくり

③ 戦略を展開する基本的視点

- ・ 「適応策」の主流化
- ・ 「適応策」に対する理解の促進
- ・ 気候変動の進行に応じた柔軟な対応
- ・ 「現場感覚」に即した「適応」の推進

④ 対象分野

- ・ 「県土保全」「自然生態系」「水環境・水資源」「健康」「産業経済」「農林水産(食料)」の6分野

⑤ 横断的取組み

- ・ ③の基本的視点を踏まえた、各分野に共通する「横断的取組み」を設定

(2) 分野別の影響

- ・ 気候変動の影響に関連する本県の地域特性や現況、将来予測について、対象分野ごとに取りまとめ

(3) 分野別の基本施策

- ・ 気候変動の影響に対する現在の取組状況や今後の方向性、主な指標について、対象分野ごとに取りまとめ

(4) 推進体制

- ・ 環境審議会において進捗を点検・評価し、「進化する適応戦略」として、定期的に見直しを実施

3 今後のスケジュール

平成28年7月	パブリックコメントの実施
9月	環境審議会からの答申
同	9月定例会にて戦略案を報告
10月以降	戦略の策定